

活動事例

木工・漆産業による地域産業形成・活性化活動

【 内 容 】

【(東北の漆産業)】

- ・ 茨城は全国第2位の産出県。
- ・ 透明性、肉持ち、塗り易さなど、日本では最高峰に位置する良質な漆
- ・ 高齢化、過疎化により漆掻き後継者不足が進み生産力が低下。
- ・ 認知度が低い。

【課題】

- ・ 漆掻き後継者の確保と漆生産環境の改善。
- ・ 漆製品の創出による漆産地を含めた漆工芸産業づくり。

【対策】

漆生産者と地元を中心とした木工関連の製造業者及び地域を繋げ、原材料生産から、製品生産、ユーザー・市場へと、川上から川下までの流れを構築し、「文化」及び「産業」を両立させながら、地産地消型の漆工製品及び産業形態作りを目指す。

《課題を解決するための活動組織を設置》

- 名称 「奥久慈うるしの郷づくり準備委員会」

- 委員会の目的

〈長期的な目的〉

漆作り及び漆製品作りを通して、奥久慈が
「漆を軸として人の集う場所・郷」になること。

〈短期的な目的〉

- ◇ 活動基盤作り
- ◇ 奥久慈漆の物作りを起こすこと。
- ◇ 漆および製品のPR・普及活動。
- ◇ 人材の誘致活動。
- ◇ 人材受入れのための受け皿作りの検討。

- 現在の活動

〈活動の基盤作り〉

漆の取り扱いや物作りのあり方や仕組み、組織の活動拠点作り。

〈製品作り〉

シンボル製品の検討。

〈PR・普及活動の検討〉

地元からの情報発信と展示広報活動。

- 今後の活動

奥久慈漆の認知向上のためのPR活動とモノ作りシステムの構築。



奥久慈漆

委員会メンバー

基礎となった事業

平成19年度 (財)グリーンふるさと振興機構 企業化支援事業

担当部門

産業連携室

主任研究員 寺門秀人

TEL : 029-293-7212